



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 新年のご挨拶 理事長・病院長・副院長 兼 看護部長 …… 2・3
- はじめまして …… 3
- 坂出市震災対策避難防災訓練に参加しました …… 4・5
- 最新の内視鏡システムが導入されました …… 6
- 第43回ソフトボール大会出場 …… 7
- 皆さまからのご意見の紹介 …… 8

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2025年
307号



社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎ 0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。

新年のご挨拶

理事長 松浦 一平



新年明けましておめでとうございます。
地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私たち回生病院は、地域医療への貢献をミッションとし、地域の皆さまの健康と安心を支える存在であり続けることを目指しています。昨年、地域医療の発展に向けたさまざまな取り組みを行い、皆さまからの温かいご支援とご協力のもと、大きな一歩を踏み出すことができました。

本年も、このミッションのもと、より質の高い医療の提供に努めるとともに、地域住民の皆さまのニーズに寄り添った医療サービスを展開してまいります。救急医療やリハビリテーション、予防医療の充実を図るとともに、職員一人ひとりがその力を発揮し、地域に貢献できる環境づくりに取り組んでまいります。

「みんなの回生」という言葉が象徴するように、回生病院は地域の皆さまの病院です。私たちは、地域の健康を守るパートナーとして、これからも皆さまとともに歩んでいくことをお約束します。

本年が皆さまにとって健康で幸せあふれる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。そして、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

病院長 沖屋 康一



地域住民の皆さまに支えられ、無事に新年を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。また、日々の診療、運営、地域医療への貢献に全力を尽くしている職員の皆さま、さらには病院の活動を支えてくださる多くの関係者の皆さまに改めて感謝の意を表します。

私たち回生病院は「皆さまに愛され信頼される病院」を目指し、長年地域医療に尽力してまいりました。医療は単なる技術の提供や、単なる薬の処方ではなく、皆さまの命や生活に寄り添う営みです。その中で私たちは、地域社会の一員として、皆さま一人ひとりが安心して医療を受けられる環境を整えることを最優先にと考えております。

2025年は地域医療のさらなる充実とともに、近年の災害リスクの増大に対応する災害対策を堅持していく所存です。日本は自然災害の多い国です。私たち医療機関にも、災害発生時の迅速な対応力と持続可能な医療体制が求められています。日頃の診療や研修を通じて、災害時における対応力の向上を図るとともに、地域住民の皆さまとともに防災意識を高めてまいります。

医療スタッフの教育訓練や研鑽を推奨し、また、行政や他の医療機関、地域の福祉施設とも連携を深め、いざという時に地域全体で助け合える体制を構築してまいります。私たちの努力が、地域全体の安心感につながるよう、一層の努力を重ねる所存です。

本年も、「愛され信頼される病院」を目指す私たちの取り組みに、皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。2025年が皆さまにとって実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

副院長兼看護部長 南原 愛子



新年明けましておめでとうございます。今年が皆さまにとって幸多き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は、一月一日十六時十分 能登半島地震 マグニチュード7.6で幕を開けました。当院からも、DMAT隊員が派遣され、看護師は患者搬送や介護施設で夜勤要員として活動しました。現地の職員は患者が被災し、日常生活がままならない中で業務にあたっており、被災者でありながら自分自身や家族のことを後回しにしている状況だったと報告がありました。九月には豪雨災害が重なり、現在も、避難生活を送られてる方がいると思います。早期の復興を願ってやみません。ところで、令和四年十二月に医療法および感染症法の改正に基づき、「災害・感染症医療従事者」としての登録・派遣が始まりました。従来、日本看護協会が取り組んできた「災害支援ナース」は自然災害時のみの派遣でしたが、新たな「災害支援ナース」は感染症にも対応し、新興感染症発生・まん延時にも派遣されることとなります。当院では、四名の看護師が登録し、令和六年四月一日付けで、回生病院は県と契約を交わしました。

また、昨年五月から、地域住民の方を対象とした市民公開講座を再開しております。防災についての講義には多くの方に参加していただきました。今後も開催予定ですので、ぜひご参加ください。さらに、入院時より早期にリハビリテーション・栄養指導・口腔ケアに関わるためのチームカンファレンスを開始し、身体的拘束最小化に向けても取り組んでいます。ケアの質向上に向けて努力していきたいと思えます。

今後とも、皆さまのあたたかいご支援ご指導、何卒よろしくお願致します。

はじめまして

リハビリテーション科課長 永井 秀政



2024年11月1日よりリハビリテーション科に勤務しています。永井秀政（ながい ひでまさ）です。

出身は広島県福山市です。現在は倉敷市の水島に住んでおり、瀬戸大橋を渡って通勤しています。日頃から気をつけていることは健康で、週末のウォーキングが趣味です。卒業は島根医科大学で、同大学の脳神経外科および関連施設で約30年間勤務しました。専門は脳卒中、脳ドック、脳神経超音波、機能神経外科、てんかんなどでした。最近までは学生教育に専念することが多く、雑務が多い日々でした。この度、還暦を契機に脳神経外科を卒業してフリーとなり、ご縁があり回生病院リハビリテーション科として働かせてもらうことになりました。

これまではリハビリを依頼する立場でしたが、これからは依頼される立場となり、戸惑う日々です。リハビリを少し勉強してみました。リハビリは生活に注目して活動を育む診療科とされています。疾患を対象とする診療科と考える方向が異なります。まずはその理解がようやく入ってきたところです。

関係各部署の皆様にはお手数をおかけしますが、今後ともよろしくお願致します。



坂出市震災対策避難防災訓練に参加しました

回生病院 DMAT

11/10（日）に行われた、坂出市震災対策避難防災訓練に当院からDMAT隊員5名が参加し、坂出市東部地区の大勢の方に、災害時におけるトリアージについてお話しし、その後、実技を見ていただきました。

この夏、初めて南海トラフ地震臨時情報が発表され、改めて災害について考えたり備えたりするきっかけになったのではないかと思います。災害の時には平時のような十分な医療が受けられないことも予想されます。その時には、自助、共助が大切になってきます。

私たちがお話しさせていただいたのは、「START法トリアージ」というトリアージの方法です。トリアージというのは、傷病者など治療を受ける必要のある人々の診療や看護を受ける順番などを決定する診療前の1つの過程のことです。START法トリアージは一次トリアージとも呼ばれ、災害時や事故などで多数傷病者が発生している場合に、傷病者を選別していく方法です。一次トリアージ後、二次トリアージで細かく観察していきます。

START法では観察項目が簡素化されており、短時間で治療が必要な方が選別できるようになっています。図1に示すように、自分で歩けるかどうか、呼吸しているかどうか、意識があるかどうかといった項目について判定し、黒、赤、黄、緑の4つの区分に振り分けていきます。黒は「治療の適応なし（死亡）」、赤は「緊急治療の適応あり」、黄は「治療の適応はあるが待機可能」、緑は「急いで医師による処置を受ける必要がない傷病者」という分類になります。

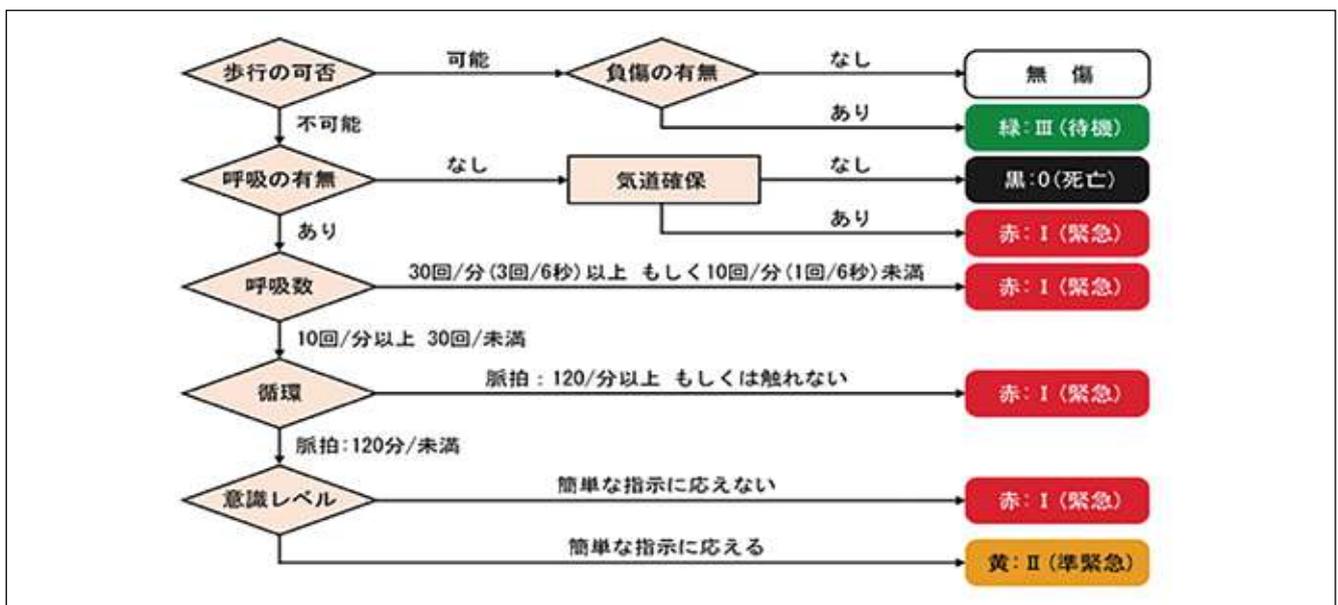


図1 START法トリアージ

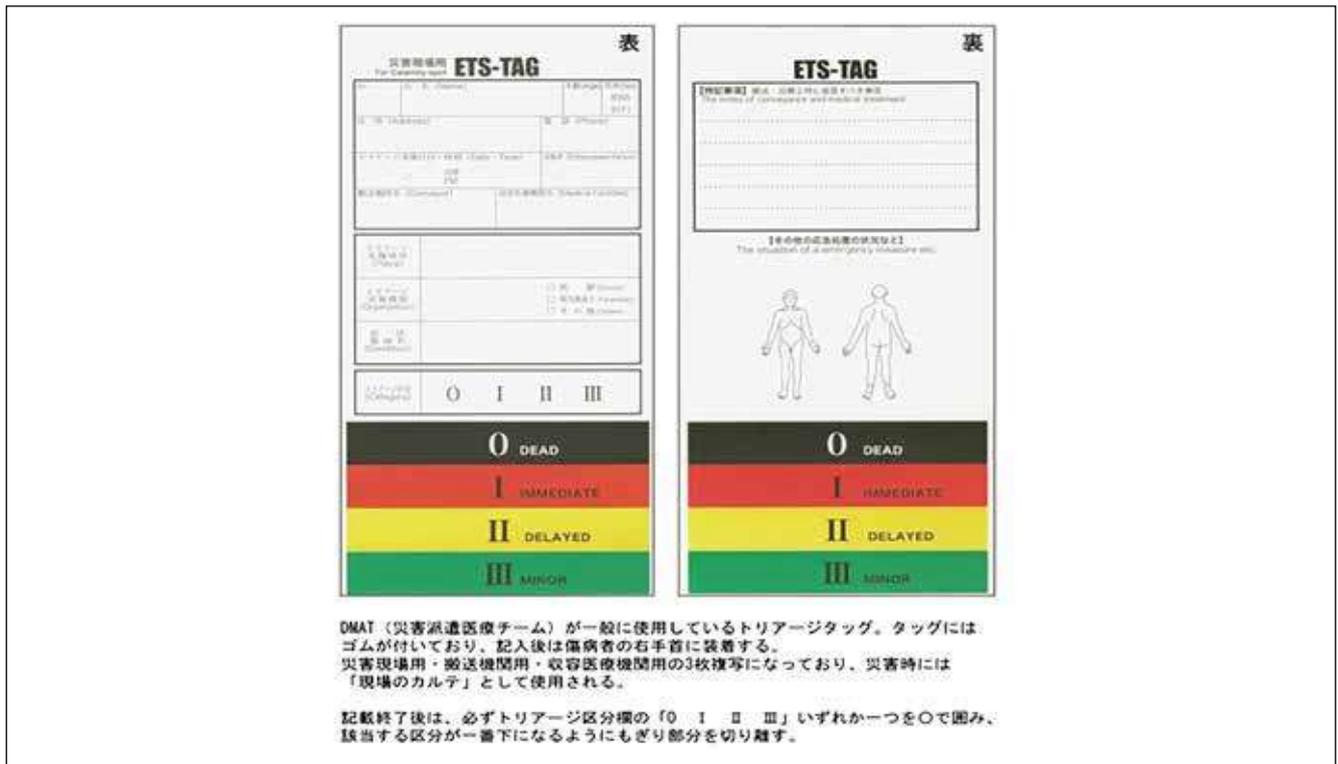


図2 トリアージタグ

トリアージ後は、トリアージタグ（図2）と呼ばれる用紙に氏名などの個人情報と区分を記載し、原則右手につけます。該当区分の色が一番下になるようにトリアージタグの下の部分をもぎり取り、どの区分の傷病者なのかがひと目で分かるようにします。右手が損傷している場合は、左手、右足、左足、首につけます。

このトリアージは一度行って終わりではなく、何度も繰り返し行われ、区分が変わっていくこともあります。

START法トリアージは、特別な医療の知識がなくても行うことができます。災害時には、医療従事者が不足することも考えられます。このトリアージを知っていただき、もし災害が起こったときにはお力添えいただけますと幸いです。



最新の内視鏡システムが導入されました

消化器センター

内視鏡システムが2024年10月に更新されました。

最新のシステムでは画質が今までよりもはるかに向上しており、明るく鮮明なモニターで観察することが可能になっています。人工的に色調を変換させて観察する画像強調処理の性能も向上し、病変の診断能も向上しています。今回のシステムによって、見落としの軽減、検査時間の短縮、内視鏡的治療の成功率向上等の効果が期待されます。

また、今回はバルーン内視鏡も導入しました。この内視鏡は小腸の内視鏡検査および大腸の形態や長さの問題で大腸内視鏡検査が困難な方に用いるものです。消化管の暗黒大陸といわれ、検査が困難であった小腸も2003年にバルーン内視鏡が開発されてから検査が比較的容易になりました。しかし、検査の煩雑さや症例数の少なさから常備している病院は限られていました。これまで当院ではレンタルで対応していたため早急な対応が困難でしたが、今後は必要に応じて速やかに対応することが可能です。なお、この内視鏡は検診で用いるものではなく、小腸の精査が必要と考えられる方、通常の内視鏡では大腸の観察ができない方のためのものです。疑問な点があれば主治医にご相談ください。



最新の内視鏡システム



小腸用内視鏡

第43回 ソフトボール大会出場

2024年11月4日（祝）に坂出地区雇用対策協議会第43回ソフトボール大会が開催されました。

回生病院チームは、様々な職種から選手が集まり毎年参加しています。

今回は、2度の練習予定日が雨で流れてしまいぶっつけ本番となりましたが、みんな元気よく声を出しハツラツと楽しみました。

結果は二戦二敗でしたが、来年は勝利へと意気込んでいます。

是非、今年も応援よろしくお願ひします。





皆様からのご意見の紹介

おほめの言葉

【総合健診センター】

毎年人間ドックで利用させていただいていますが、職員の皆様への対応の良さにいつも感心しております。丁寧な言葉遣いと優しい態度で本当に気持ち良く検査が受けられます。ありがとうございます。ちなみにお食事ボリュームがすごくて大変おいしくて楽しみにしております。

【総合健診センター】

丁寧でよく分かります。毎年、受けています。



患者様からのご意見

【会計】

会計で20分以上待たされた上に十分な説明もなく、声をかけると不機嫌そうな態度で対応。回生病院の職員としてもう少し態度を改めてほしい。

【回答】

受付票に記載している受付番号は外来や会計時に患者様の呼び出しに使用しております。ご説明が足らず、待ち時間が長くなったことをお詫び申し上げます。

職員一同、患者様に満足して頂ける対応を心がけておりますが、窓口の対応で不快な思いをおかけして申し訳ございませんでした。今後はこのような対応がないよう、職員への接遇指導を徹底して参ります。このたびは貴重なご意見ありがとうございました。

(医事課)

ご協力をお願い

ご本人確認のため
お名前をフルネームで
お願いします

同姓同名の方も
いらっしゃいます

回生さん～

はい！

は～い

取違い防止のため



患者間違いを防止するため
何卒、ご協力下さい

院内に左のようなポスターを掲示しているのをお気づきでしょうか。

誤って違う患者様に説明する、書類を渡す、診察や処置・検査を行う等を防止するために、様々な場面で何度となく氏名や生年月日をおたずねしています。

正しい患者様に正しく医療や情報を提供するため、何卒、ご協力をお願いいたします。受付票にも氏名の記載があります。記載の氏名に誤りがないかご確認いただき、受付から会計終了まで手で保管して下さい。

(会計案内板の表示番号も共通です)